

“J S G A A通信 2011年東京展 特別号”を発行

みなさまのご協力で東京展来場者向けの情報誌を発行しました。「古今東西ステンドグラスの旅」では各地の公共施設から海外の教会まで会員お勧めのステンドグラスを紹介。また「ガラスの話あれこれ」で体験を語ったエッセイを掲載。予定していた500部は最終日を待たずに全て配ることができました。

活動報告

- 2月10日(木) 第3回東京展実行委員会開催
- 3月25日(金) 第4回東京展実行委員会開催
- 4月25日(月) 第5回東京展実行委員会開催
- 5月31日(月) 第6回東京展実行委員会開催
- 7月25日(月) 第7回東京展実行委員会開催

通常総会

2011年6月1日(火) 銀座教会・東京福音会センターに於いて平成23年度通常総会を開催しました。事業報告、予算審議のほか、一ヶ月後に迫った東京展の全体打合せ等山積みの案件でした。会議は大変でしたが目標に向かって進んでゆく顔はみんな素敵な笑顔です。

メンバー紹介 その4

姉崎敬子 (ステンドグラス 夢幻)

茨城に移り住み33年。子育ても終わり、ふと旅をした時に見たステンドグラスに憧れてガラスの世界に引き込まれて行きました。

ランプシェード、パネル、そしてダル・ガラスに興味注がれていき、ダルを勉強したいと図書館、美術展など多くの展覧会へ行きました。

絵画、彫刻、工芸などから多くのヒントをもらい、試行錯誤しながら自分にしか出来ない作品作り、現実と幻想の世界。そしてあの時の感動を今も追いつけて制作に励んでいます。

ホームページのご案内

展示会の情報「東京2011“EMOTION II 感動”」を更新しました。みなさんチェックしてみてください。

アドレスはこちら



<http://jsgaa.org/>

会員を募集しております

J S G A Aの活動に興味をお持ちの作家さんを募集いたしております。事務局に必要書類がございます。お気軽にお問い合わせ下さい。

編集後記

台風15号が日本列島に大きなつめ痕を残して通り過ぎて行きました。各地で災害に見舞われ、たくさんの方が悲しみの中でこの秋を過ごしています。2011年を振り返るにはまだ少し早すぎますが、私たちは今年ほど自然による災害に向き合った年は無かったかも知れません。同時に助け合う気持ちと行動力を人びとは示してくれました。

毎日を平穏に過ごせることの幸せに感謝し、人のために役立つ生き方を学んでいきたいものです。

本協会への入会、お問い合わせは事務局及び各会員までお願いします。

発行日 2011年10月10日
発行者 日本ステンドグラス作家協会
(事務局) 〒108-0074 東京都港区高輪4-2-7-201
林 晶子 (A工房)
編集者 〒841-0004 佐賀県鳥栖市神辺町1589-3
櫻井 由美 (ステンドグラスがオ Ys COMET) Tel.0942-84-5546

日本ステンドグラス作家協会

Japan Stained Glass
Artist's Association

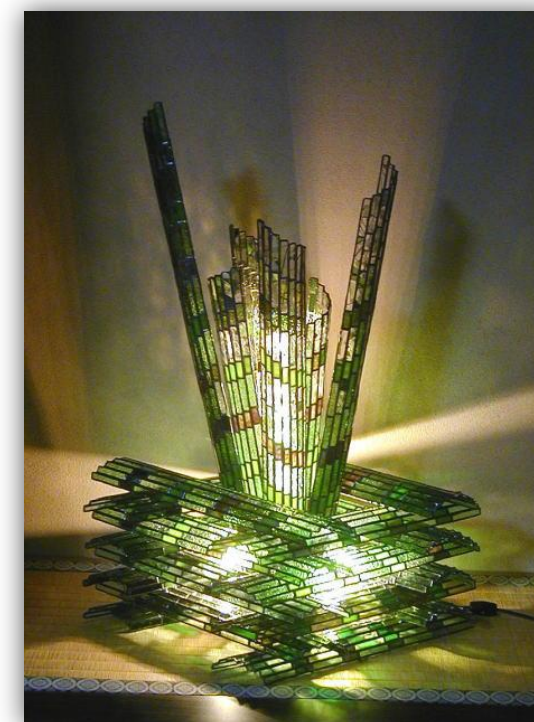
日本ステンドグラス作家協会

会報誌

JSGaA

第6号 第6号

2011年10月 Vol.6



涼(竹) Youka Takahashi

“JSGAA 東京展を終えて”

暑い真夏のひととき東京展が開催されて早や2ヶ月が過ぎようとしています。

皆様の活気溢れる作品は訪れた方々を感動させたに違いありません。展覧会終了後、様々な分野の方々からお手紙をいただきました。

「熱い思いが伝わり心が洗われた！力強い作品は心を奮い立たせて下さった。・・・」等です。

原発、大震災と悪夢に見舞われた日本の現状、私たちも展覧会の開催すら危ぶまれた事でした。

しかし、やっぱり開催してよかった！これは思わず出てきた言葉でした。

今思うと、私たちも心がふさぐ現状の中で、力を振り絞り己を鼓舞しレクイエムとまた罹災した方々への大きな愛のメッセージをとの思いを込めて制作いたしました。アトリエが震災でひっくり返りその中で創作に打ち込んだ方もいらっしゃると思います。創作は、即ち、心からのメッセージは、自分自身に対しても、それに感動を受けた方々にも強烈なエネルギーを沸き立たせ、生きる力の源となる事と信じます。

この展覧会により、少しでも社会全体の勇気、希望となってくれればと願っていました。

先日、フランスから電話が入りました。ヨーロッパも今経済状態が悪くエネルギーが消耗しきっているとの事でした。世界的な大不況の中で、なかなか職人も育たず、思うような原材料も手に入らない現状です。私たちは、人を感動さすべく本当の芸術を永続させ、そしてすべての分野を超えて、今感動を発信させなければなりません。素晴らしい芸術を創り上げてゆくことを世界中の応援者が見つめて下さっています。

いまこそ、真理を追究してゆこうではありませんか。苦しい中にも我々には、創作の喜びがあります。困難に耐えて、この苦しみを、喜びにかえましょう。そして社会に発信いたしましょう。それが芸術家の特権であり任命でもあります。

また世の中の人々のアーティストに対する温かいお力添えにも心より感謝いたしています。

会長 三浦啓子 (株式会社ロクレール・ロダンシオン)

“日本ステンドグラス作家協会東京展を振り返って”

震災から6ヶ月が経ちました。被災された方の思いを共有するとともに、復興に向けて、何ができるのかと自問する日々が続いています。

今年は、協会展開催遂行については諸事情を鑑み、会員の中からも様々な意見が出されました。震災後、仙台の高橋会員との連絡がついたときは一同喜び安堵し、実行委員会を重ねるごとに JSGAA の前向きな姿勢が明るさの一端を担えることを確認しつつ東京展を開催する運びとなりました。

会期中は猛暑の中、多くの方にお出かけいただきました。来場者の方からは久しぶりにほっとする時間を持てた。取りやめになる展覧会もあるなか、遠方からの出展に啓発された。震災以後制作が止まっていたけれどもまた始めようと思った。などの嬉しいお声を多々頂きました。会場に来られた方から作品の制作意図、制作方法を聞きたい、ガラスの入手経路の相談、パネルとフレームについての質問など、また展示作品の製図を開示してほしい、アトリエを紹介してほしいなどのご希望も多くあり、様々なコミュニケーションの場を皆様に提供することが出来ました。

会場に詰めていた会員一同が気さくに皆様からのご相談、ご質問に答えていたことがこの様なお声を頂けたものと思います。

会場では、多くの方がガラス関係の情報を求めていると実感した一週間でもありました。また多岐にわたる作品で会員それぞれのクライアントさんも作家の表現する別の面を見いだせたのではないのでしょうか。

そしてささやかな金額ですが、皆様方のご協力のもと冊子の売り上げの一部は日本経済新聞社を通じて東日本大震災の義援金として寄付ができましたことをご報告させていただきます。

来年度は1ヶ月間にわたる企画展の予定があります。また新たな出会いと新境地を開拓しつつ前進してゆきたいものです。

今回は本当に暑いなかにお出掛け下さった皆様方、そして JSGAA 東京展に御協賛頂いた各社様に心より御礼と感謝を申し上げたいと思います。

JSGAA 東京展実行委員長・林晶子 (A 工房)

展覧会レポート

JSGAA 日本ステンドグラス作家協会 第2回作品展 東京 2011 “EMOTION II 感動”

梅雨の晴れ間、開催日当日の午前中は会場の設営からスタートしました。

今回の展示では使用する電力量を少しでも節約したいということで、スポットライトの数を減らしたり、LED電球を積極的に使用することも行いました。限られた条件の中であっても作品のディスプレイには作家の愛情がこもります。



期間中、1,000名を超えるお客様にご来場いただきました。次の展覧会にもまた行きたいとおっしゃってくださるお客様のお声に今後の制作活動にも意欲が湧いてきます。またたくさんの方に足を運んで頂けるよう頑張ってみましょう。



ながっていくことでしょう。これからもよろしくお願ひします。

協賛企業各社様をお招きし、ゲスト作家の方々とも懇親を深めた食事会。ステンドグラスを取り巻く状況も他の業種と同様大変厳しいものはありますが、制作者である私たちと問屋さんが一緒になって盛りたてることでステンドグラスの普及発展につ

(裏へ続く)